

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年5月29日(2008.5.29)

【公開番号】特開2007-3598(P2007-3598A)

【公開日】平成19年1月11日(2007.1.11)

【年通号数】公開・登録公報2007-001

【出願番号】特願2005-180641(P2005-180641)

【国際特許分類】

G 0 2 B 15/20 (2006.01)

G 0 2 B 13/18 (2006.01)

G 0 2 B 15/163 (2006.01)

G 0 3 B 17/17 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 15/20

G 0 2 B 13/18

G 0 2 B 15/163

G 0 3 B 17/17

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月14日(2008.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】

前記第 2 レンズ群を、物体側から順に、物体側面よりも像側面が近軸曲率半径絶対値が小さい負屈折力の単レンズと、両凹負レンズと両凸正レンズとの接合レンズで構成し、前記第 3 レンズ群を、物体側から順に、複数の正レンズと少なくとも 1 枚の負レンズからなり、隣り合う正レンズと負レンズとを接合して構成し、前記第 4 レンズ群と前記第 5 レンズ群を、それぞれ 2 枚以下のレンズで構成した特徴とする請求項 2 1 記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 3】

本発明の第 1 5 の撮像装置は、第 1 4 の撮像装置において、前記第 2 レンズ群を、物体側から順に、物体側面よりも像側面が近軸曲率半径絶対値が小さい負屈折力の単レンズと、両凹負レンズと両凸正レンズとの接合レンズで構成し、前記第 3 レンズ群を、物体側から順に、複数の正レンズと少なくとも 1 枚の負レンズからなり、隣り合う正レンズと負レンズとを接合して構成し、前記第 4 レンズ群と前記第 5 レンズ群を、それぞれ 2 枚以下のレンズで構成した特徴とするものである。